

牧草用輸入ラップフィルムの 現地適合性確認試験



左:試験品 右:慣行品



左:試験品 右:慣行品



慣行品1



試験品1



慣行品2



試験品2

試験目的

牧草用輸入ラップフィルムの現地適合性確認試験

試験作物 及び品種

TMR

試験資材 及び数量(規格)

北海道専用牧草ラップフィルム(グラスワインド)
(0.025mm×500cm×1800m 白)

慣行資材

品名不明(0.025mm×750cm×1200m 白)

資材使用期間

8月中旬

試験結果

(1)作業性について(慣行品との比較)

巻きつけ作業時に慣行品と同様に扱ったが、まったく気にならなかった。

また、巻上がりについても慣行品と比較し特に気なる点はなかった。

慣行品・試験品ともに切れる時があったが、機械の調子が悪かったためと思われるため、問題なし。

(2)作物の生育状況または、収穫への影響

飼料分析等行ってはいないが、サイレージの製品差はないと思われる。

(3)資材の強度・耐久性・崩壊性について

慣行品と比較し問題ないが、ともに暑い日に巻くと切れやすいように感じられた。

モニター感想

牧草ラップは作業時に切れないのが最低条件である。

コスト低減に向けて今後もいろいろ検討していきたいので、安価品を提案してほしい。

JA担当者の感想(小山係長)

牧草ラップの系統利用率向上にむけて安価品・高品質品等、生産者が魅力を感じるような製品を、今後とも提案していただき、推進等を行っていきたい。

今後の使用について

価格次第であるが、継続して使用したい。

将来希望する資材について

ラップやロールネット、その他資材等で、系統外との価格差があるので、価格や品質も含めて対抗できるようにお願いしたい。

その他

今年度他地区でも同様に試験を実施したが、国産品と比較し密着感が弱いという意見があった。